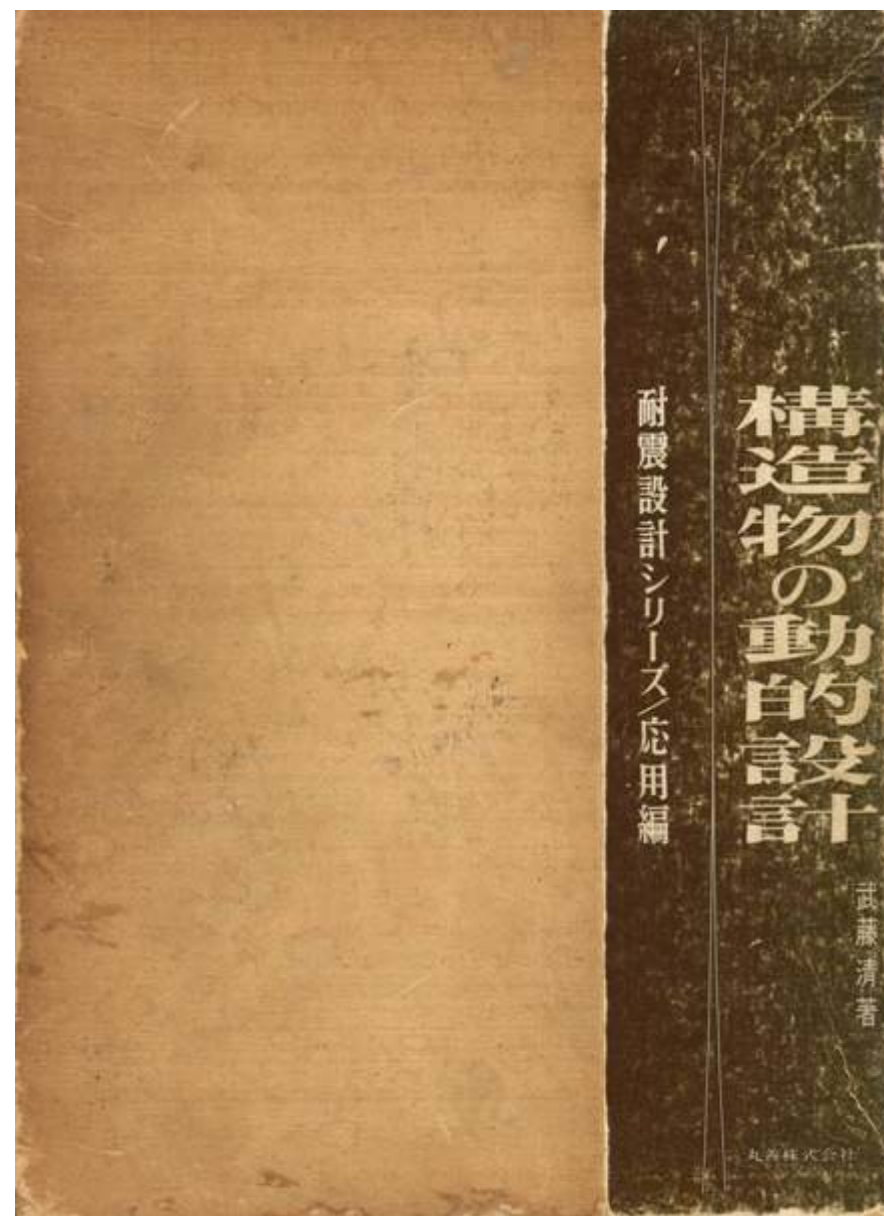
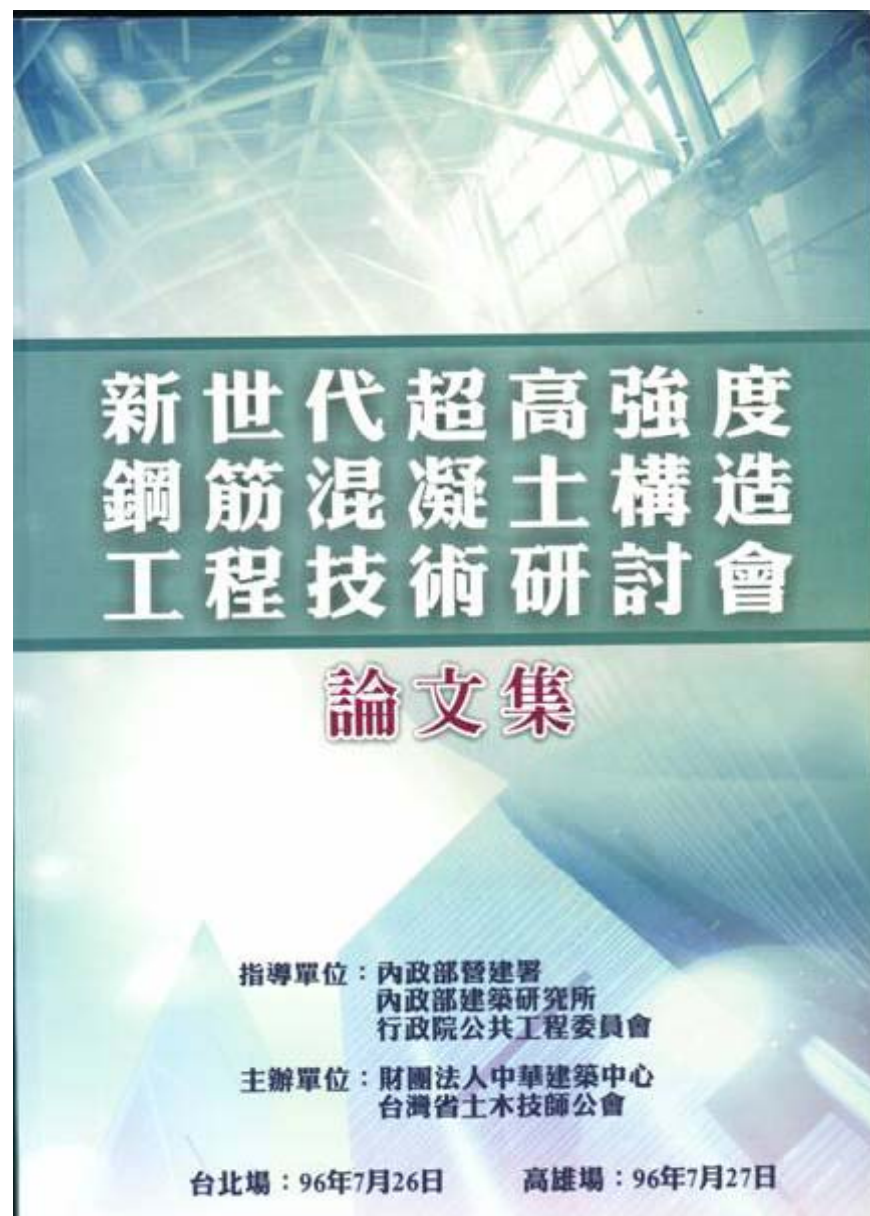


國內New RC近年來之推展

－ 與日本產、學業界之交流 －

廖慧明建築師事務所主持建築師

廖慧明



Series on Innovation in Structures and Construction — Vol. 3

Series Editors: **A. S. Elnashai & P. J. Dowling**

DESIGN OF MODERN HIGHRISE REINFORCED CONCRETE STRUCTURES

Editor: **Hiroyuki Aoyama**

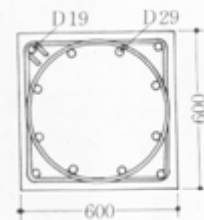
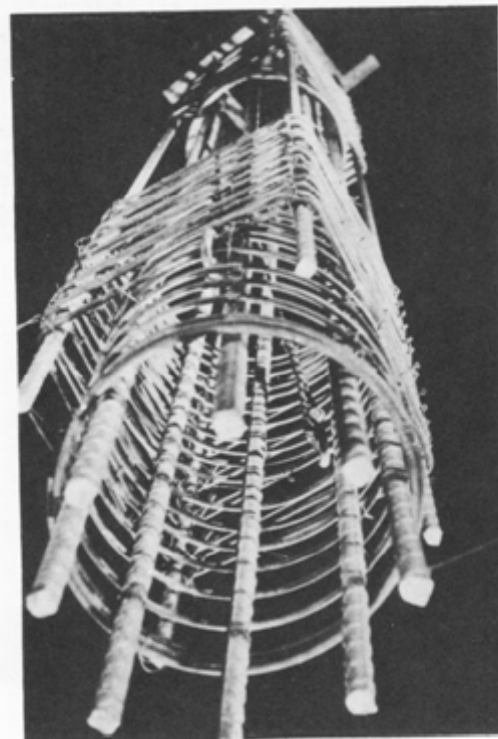


Imperial College Press

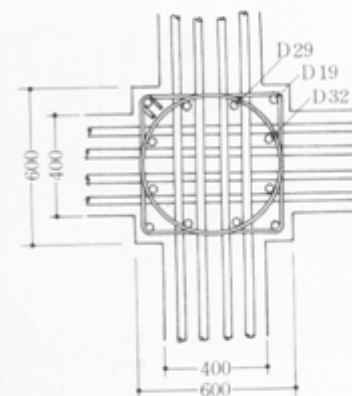
写真 4.14 オリーブビル病院の
L形柱の被害

写真 4.15 同スパイラル柱の被害

地震時之受害



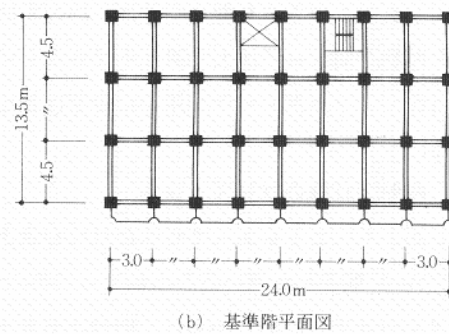
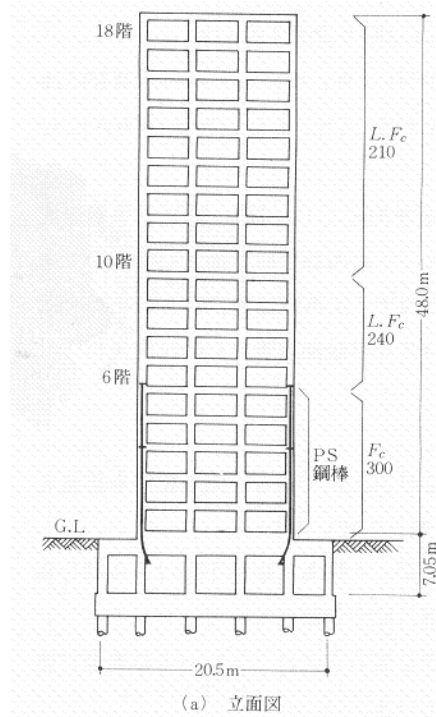
(a) 柱中央部



(b) 柱・はり接合部

写真 4.23 カジマスバイラル柱

韌性配筋之詳圖



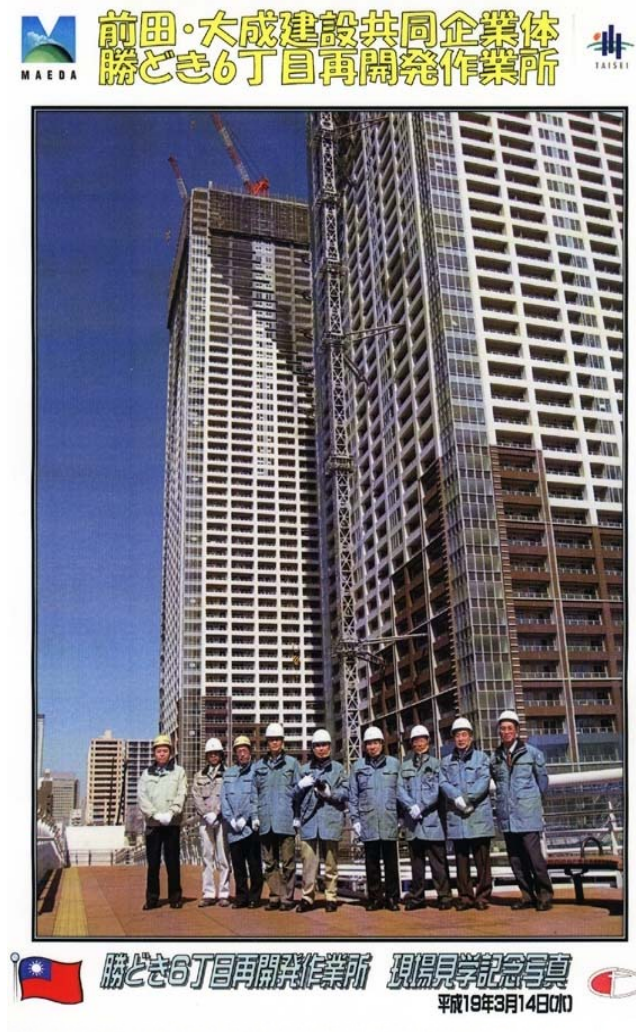
PS 鋼棒 はプレストレス用の鋼棒を示し L, F_c , F_c は各々コンクリート強度が区別して用いられていることを示す.

図 4.12 建物構造概要



最初之高層RC建築

New RC之研究



2007兩次組團至日本參觀New RC設計施工之狀況



國內於2007年7月在台北、高雄各舉辦一場「新世代高強度鋼筋混凝土構造工程技術研討會」，邀請日本學者、專家介紹New RC相關內容

超高層鉄筋コンクリート造建築技術研究会

超高層鉄筋コンクリート建築の 発達

2007年7月

東京大学名誉教授

青山 博之

超高層鉄筋コンクリートの設計

鹿島建設建築設計本部
構造設計統括Gr.

山本 幸正

日本における 免震、制振装置を用いた超高層 鉄筋コンクリート造の現状

東京都立大学名誉教授
日本免震構造協会会長

西川孝夫

超高層ビルの時刻歴応答解析と 性能評価について

菅野 忠 (Sugano Tadashi)
館野公一 (Tateno Tomokazu)



財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan



超高層鉄筋コンクリート造の 施工法及び実例

和泉 信之
Nobuyuki Izumi

超高層鉄筋コンクリート造の 施工法及び実例(其の2)

2007年7月

鹿島建設株式会社 荻原行正



2008年4月産、學、研、官各界第三次組團至日本參觀New RC建築。



2009年9月23日邀請日本專家學者來台，舉辦「新世代高強度鋼筋混凝土構造工程技術第二次研討會」。

日本における高強度RC造超高層 建築物の性能評価について

西川孝夫 (Nishikawa Takao)
首都大学東京名誉教授
Professor Emeritus
Tokyo Metropolitan Univ.





第2回超高層鉄筋コンクリート造建築技術研究会

2009年9月22日 台北、台湾

高強度材料の 超高層鉄筋コンクリート耐震構造への利用技術

菅野俊介

広島大学 名誉教授
(独)建築研究所 客員研究員

第2回超高層鉄筋コンクリート造建築技術検討会

日本における
超高層鉄筋コンクリート造建築物の
構造計画と耐震設計の現状

千葉大学大学院教授

和泉 信之
IZUMI Nobuyuki



超高層鉄筋コンクリート造の 施工法計画及び管理

・・・サイトPC工法の実例紹介・・・

2009年9月

鹿島建設株式会社 荻原行正

新世代超高強度鋼筋混凝土構造工程技術 第三次研討會講義



指導單位：行政院公共工程委員會、內政部建築研究所、內政部營建署
主辦單位：財團法人台灣建築中心
贊助單位：中鹿營造股份有限公司、台日國際工程顧問股份有限公司、
潤泰集團、潤弘精密工程事業股份有限公司、日商熊谷組、華熊營造、大林組

2011/9/19舉辦第三次研討會

2011/8/16

東北地方太平洋沖地震の概要 地震・超高層・津波

首都大学東京 名誉教授
日本免震構造協会 会長

西川孝夫

第3回高強度鉄筋コンクリート造建築技術研究会
2011年9月19日 台北市、台湾

東日本大震災とRC造建築物の被害
－ RC造建築物の被害 －

菅野俊介

広島大学 名誉教授

(独)建築研究所 国際地震工学センター 客員研究員

福山 洋

(独)建築研究所 構造研究グループ 上席研究員

第3回超高層鉄筋コンクリート造建築技術検討会

日本における
高強度RC部材の
耐震設計

千葉大学大学院教授

和泉 信之
IZUMI Nobuyuki

最近の超高層RC造建築物の 施工事例

・・・サイトPCa工法・・・

・・・RC造オフィスビル・・・

2011年9月

鹿島建設株式会社 荻原行正

平成22年10月 1日

国立大学法人 千葉大学長 殿

会社名 台日国際工程顧問股份有限公司
代表者名 会長
廖 慧 明



台湾 New RC 研究会の委員委嘱について（ご依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊社業務に関しましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、貴学職員を台湾 New RC 研究会の委員として、下記のとおりご委嘱いたしたく、ご承諾賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 氏 名 | 和泉 信之 |
| 2. 所 属 | 大学院工学研究科建築・都市科学専攻建築学コース 教授 |
| 3. 期 間 | ご承諾いただいた日から平成23年9月30日 |
| 4. 勤務様態 | 年1から3回程度 1回1日程度 |
| 5. 勤務内容 | 台湾 New RC 研究会（台湾における超高層鉄筋コンクリート造建築物の設計・監理に関する建築構造技術の向上を目的とした研究会）における研究・技術指導 |

2010年與日本千葉大學和泉教授簽訂共同研究合約

台灣超高層鉄筋コンクリート造建築物に関する研究計画(案)

台湾におけるはじめての超高層鉄筋コンクリート造建築物の実現に向けて、台湾 New RC 構造について研究面と設計支援面において 2010 年 10 月から 2013 年 3 月まで約 2 年半の間活動してきました。2013 年 4 月 17 日東京において廖慧明先生から、これまでの成果を活かして引き続き更に 3 年間活動していただきたいというご依頼がありました。このご依頼を受けて、2013 年度からの研究計画について概要を以下に述べます。

1. 研究テーマと期間

- (1) テーマ：「台湾における超高層鉄筋コンクリート造建築物の耐震設計に関する研究」
- (2) 研究内容：台湾コード及び日本コードにより試設計された超高層 RC 造建築物を対象として、基本モデル及びフレームモデルを用いた静的非線形解析及び時系列応答解析により耐震性能値を評価する。これらの耐震性能値から、耐震設計法、特に静的非線形解析を用いた骨組の終局強度設計方法について考察する。
- (3) 研究期間：2013 年 5 月から 2016 年 03 月までの 3 年度

2. 各年度の主な研究内容

- (1) 2013 年度 (2013/03～2014/03)：台湾の設計用地震動の調査・入手
基本モデルの地震応答解析・耐震性能評価
- (2) 2014 年度 (2014/04～2015/03)：台湾地震動波形及び日本地震動波形による試設計超高層 RC 造建築物の地震応答解析・耐震性能評価
骨組の終局強度設計法の検討
- (3) 2015 年度 (2015/04～2016/03)：台湾 New RC 終局強度設計法の考察

2013年與日本千葉大學和泉教授簽訂3年期研究合約



邀請日本東京大學榮譽教授小谷 俊介至台大擔任客座教授一學期
教學內容：「鋼筋混凝土構造之非線形地震反應分析」

小谷 俊介教授簡介

- 1966 東京大學建築學科畢業
- 1969 M.Sc. from University of Illinois
- 1973 Ph.D. from University of Illinois
- 1973 Assistant Professor at University of Illinois
- 1975 Assistant Professor at University of Toronto
- 1977 Associate Professor at University of Toronto
- 1979 東京大學建築學科副教授
- 1993 東京大學建築學科教授
- 2003 東京大學建築學科教授退休，任職千葉大學教授

曾任：Committee chair of

HFW project

US-Japan coordinating research program on PRESSS

New RC projects

US Japan cooperative project on Adaptive Media

日本地震工學第6期會長(2005/6~2006/5)

日本建築學會災害委員會委員長(2005)

專長：Development of earthquake resistant design

Non-linear earthquake response analysis

END